

**大阪市立大学大学院**  
**都市経営研究科3ポリシー**

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)】**

○博士前期課程

1. 都市経営の基礎知識を取得し、都市政策・地域経済、都市行政、都市ビジネス、医療・福祉イノベーション経営のいずれかの分野における高度専門職業人であると同時に実務的研究者としての高度な研究能力を身に付けることです。
2. 都市経営の各専門領域における研究能力に加えて、修了後に行政、ビジネス、医療・福祉・公益・非営利組織等のいずれかの分野で高度の専門性をもって課題を解決する応用能力を身に付けることです。

○博士後期課程

1. 都市を支える行政、プランナー、NPO、ビジネス、医療・福祉等の主要なセクターに属する人々が、自らの現場で抱えている都市経営の諸課題を解決する新しい知見を開拓し、更にそれを体系化・深化させるような、博士学位論文を作成する能力をそなえることです。
2. 専門領域における深く広い知識を備えていることに加えて、実務的研究者（大学等研究機関研究者を含む）としての高度な研究能力を身につけることです。
3. 1、2に加え、本研究科に原則として3年以上在籍し、必要単位以上を取得し、必要な研究指導を受け、水準の保証された査読論文を執筆し、博士学位論文を提出し、最終試験に合格することです。

**【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】**

○博士前期課程

1. 基礎科目：学問的背景の異なる学生が、専門のコースを修得するために、基礎的知識を獲得する基礎科目を開講します。
2. 中核科目：以下のような多様な授業形態を含む中核科目を開講します。
  - (1) 深い専門知識を修得するために、講義形式による中核科目を開講します。
  - (2) 深い専門知識を応用するために、適宜設定された主題について、講義と演習を組み合わせたワークショップ科目を開講します。
  - (3) 学生がグループに分かれ、それぞれの課題を設けて、教員の指導のもとにチームとして取り組む、課題演習科目を開講します。
3. 関連科目：より専門的内容についての知識取得において修得が望ましいもの、また、中核科目の上にさらに深い研鑽を進めるための関連科目を開講します。
4. 研究指導科目：リサーチペーパーないし修士論文の執筆にあたって、研究課題を設定し、調査・データ収集により仮説を抽出し、検討・改善するプロセスを経て、深化させる論文指導を行う研究指導科目を開講します。

○博士後期課程

1. 講義科目：都市政策・地域経済、都市行政、都市ビジネス、医療・福祉イノベーション経営等のテーマで高度な特論を開講します。
2. 演習科目：学生がグループに分かれ、自らの研究課題について、水準の保証された査読論文を執筆し、自らの都市経営の諸テーマにおいて新しい知見を開拓し、更にそれを体系化・深化させるような、博士学位論文を作成するための演習を行います。
3. 博士研究指導科目：博士学位論文の執筆にあたって、研究課題を設定し、調査・データ収集により仮説を抽出し、新しい知見を開拓し、更にそれを体系化・深化させるような、論文指導を行う研究指導科目を開講します。

## 【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

### ○博士前期課程

都市経営研究科は、都市政策・地域経済、都市行政、都市ビジネス、医療・福祉イノベーション経営の各コースにおける都市関連（行政、市民、経済活動）の研究に要する知識を体系的に修得するうえでの基本的な素養となる基礎知識、論理的な思考力、文章力を含む構成力を備えた人材を、社会人を中心として受け入れます。

一般選抜では、入学後の学修に必要な知識や実績について口頭での試問を通して確認するとともに、事前に提出された研究計画に基づいて、文章力を含めた構成力、研究を推進するうえでの構想力をみます。特別選抜では、併せて筆答試験等を課し、知識や文章力に加えて、課題を把握する力ならびに修了論文作成に必要な論理性を備えているか否かを判定します。

### ○博士後期課程

都市経営研究科は、都市政策・地域経済、都市行政、都市ビジネス、医療・福祉イノベーション経営等のテーマにおける都市関連（行政・公共、市民、経済活動）の研究に要する十分な知識をもち、修士論文等の完成実績のある方で、論理的な思考力、文章力を含む構想力を備えた人材を、社会人を中心として受け入れます。

博士後期課程においては、修士論文等の完成度と研究計画によって適格性、研究の発展可能性について評価します。また、口述試験によって、研究を遂行するうえで必要な専門知識や実務実績の多寡、分析能力、論理的思考力等について判定します。筆答試験の場合、外国語科目等を課し読解力等を判定します。